

ハンドボール NO 2

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	⑬
----------	---

年月日	2022 年 10 月 10 日 (月)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

公 式 記 録 用 紙

A	千葉県						香川県						B	
都道府県	栃木県		栃木市		会場		マルワ・アリーナとちぎ				国体		3位決定戦	
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m70- 30752	A	B
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数			
	1/1		1	2 後	3	1	2 後	3	2/2					
			1237	2329	2658	2752	1613							

No.	千葉県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	香川県	G	W	2'	2'	D	DR
1	スस्ता 凛雅							1	武田 琉星						
2	豊田 創志	6						2	藤川 淳	8					
3	真野 陽都	2						3	高尾 勇羽						
4	今井 大地	5		1				4	松原 瑞樹						
5	篠塚 善							5	濱崎 琉希	4	1	1			
6	結城 颯太	2						6	山本 創太						
7	松蔭 優晴							7	柳生 青空	7					
8	長濱 拓真	4						8	安堵 統真	3					
9	小柴 創	2						9	太田 翔也						
10	松尾 拓哉	2						10	中嶋 優翔	1		1			
11	三枝 真都	2						11	奥村 晃大	6					
12	大木 星運							12	久保 健太						
監督A	杉浦 嘉彦							監督A	田中 潤						
役員B	池畑 大							役員B	植松 朋子						
役員C	三浦 千紗子							役員C	大西 健太郎						
役員D								役員D	山根 遼斗						

A	杉浦 嘉彦	チーム役員A署名	田中 潤	B
特記事項				

レフェリー	鵜野 裕基	高橋 知晃	鵜野 裕基	高橋 知晃
TD	大出 治男	中田 隆	大出 治男	中田 隆
MO	樋口 道夫		樋口 道夫	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO1

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月10日(月)	試合番号	⑩	回戦	3位決定戦
種別	少年男子	会場	マルワアリーナ		
Aチーム名			Bチーム名		
千葉			香川		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	10	前半	15	29	
	15	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

全員ハンドボールで戦う千葉とディフェンスからの速攻で勝ち上がってきた香川の対戦となった少年男子3位決定戦。序盤はお互いのディフェンスがよく機能し、両チームともなかなか得点を奪えない時間が続く。ディフェンスから速攻までつなげたい香川は、⑩奥村の配球から②藤川の豪快なシュートなどで5連取し、前半9分で2対6と千葉を引き離す。香川②藤川を止めたい千葉は、アップディフェンスに切り替え、ディフェンスからの速攻で追い上げを図る。その後、千葉はディフェンスからリズムをつくり、③真野の見事なスカイプレーや⑧長濱のディスタンスなどで得点を奪うが、前半16分に④今井が退場してしまう。その間に香川は得点を重ね、前半19分で6対11とリードを広げる。その後は、香川も退場者を出すが、①武田の好守が光り、10対15で前半を終えた。

後半開始は、香川が速攻で得点を重ねる展開となり、千葉をじりじりと引き離していく。これ以上離されたくない千葉は、香川②藤川に良い体勢でシュートを打たせないことで香川のオフェンスを停滞させ、ディフェンスから流れを引き寄せ、後半15分に16対21と5点差まで迫る。その後、香川は⑩奥村の配球からの多彩な攻めで、千葉は②豊田と⑩松尾のミドルで得点を重ね、後半23分で20対25と5点差のまま試合が進んでいく。追い上げたい千葉は、⑩三枝のミドルなどで3連取し、残り5分となったなかで、22対25と3点差まで迫る。地力に勝る香川は、安定したボール回しから②藤川のスキャンプレーが飛び出すなど、攻撃の手を緩めない。千葉は⑧長濱の見事なダブルスキャンプレーなどで追い上げを見せたが、わずかに届かず。25対29で香川が勝利した。

記載者氏名

後藤秀生

送信日時

10月 10日(月) 11:20